

青くて赤いあ
の日のこと



青くて赤いあ
の日のこと
／
ニュー
ロカ
リズム
2
0
2
2
福岡女学院大学 人文学部 現代文化学科 池田ゼミ発行

ニ
ュ
ー
ロ
カ
リ
ズ
ム
2
0
2
2

またくるけん、大分／大分県
の野んびり癒ゆっくり出で愛あいの旅／宮崎県
旅はこーでいねーと！旅はこーでねーと！！／沖縄県
みんな好きや輪／大分県
時空を超えた日常・非日常／京都府



ニューロカリズム

地元や地元愛を指す“local”、女子大生独自の視線をイメージした“ism”、
そして私たちが大学で学ぶ観光“tourism”を併せた“localism”

池田ゼミでは女子大生ならではの視点から地域の魅力を見つけ、発信し
新たな観光・地域づくりのきっかけになればとの思いを込めて
「ニューロカリズム(New-Localism)」という名前をつけました。

「自分たちらしく、そこでしか体験できない何か」を届けたい。

ぜひこのパンフレットを片手に、

まだ知らない「あなたらしい、何か」を探しに行ってみませんか？

02

またくるけん、大分／大分県

04

の^ゆんびり癒^あつくり出^て愛^あいの旅／宮崎県

08

旅はこーでいねーと！旅はこーでねーと！！／沖縄県

12

みんな好きや輪／大分県

16

時空を超えた日常・非日常／京都府

20

お土産

22

ニューロカグラフ

26

editor's note

私たちは温泉県、大分県別府市を訪れた。私たちが住む土地からさほど遠くない場所だが、大学生の旅行として訪れることが少なくまだ見ぬ魅力を発見できると思い、旅先を別府市に決めた。大分に近づくと見えてくる湯けむりに、これから体験する新たな出会いを想像し、期待で胸をふくらませながら別府を訪れた私たちは、旅の中で今回出会った人たちに思わず“ただいま”、と言いたくなる別府の魅力に気づくことができた。



大分県 / 別府



またくるけん、大分。

1日目の最初に訪れたのは「お食事処 とよ常」。観光客や地元の人でとても賑わっていた。窓から見える花火会場を眺めながら、とよ常名物の特上天井と大分名物のとり天定食を注文。サクサクの衣をまとったとり天や、地産地消にこだわった野菜や海老の天ぷらに甘いタレが良く合っていて美味しく、またお酒落なお皿に盛り付けられた自家製の小鉢料理も絶品だった。とよ常の方に大分の魅力やおすすめスポットを教えていただいて、巡ってみたいところが増えた。途中、足湯を見つけ、少し休憩。当たり前のように街中に足湯が溶け込んでいる光景は、私たちににとって珍しく、とても素敵で日常の癒しなんだろうなあ。お腹が満たされて、「竹と椿のお宿 花べっぶ」にチェックイン。館内は温もりを感じる畳と竹のフローリングで、家族とも行きたいと思うほどのんびりとした空間が広がっていた。また、椿をモチーフにしたイラストがところどころにあしらわれていて、今回のような女子旅にもびびったりな華やかな旅館だった。お部屋ではウェルカムスイーツとドリンクを楽しんだ。そして、苦戦しながらも浴衣の着付けをして、今回のメインイベントである「べっぶ火

の海まつり」の会場へ。会場には老若男女を問わず沢山の人が賑わっていた。3年ぶりの開催は、私たちにとても久しぶりの浴衣を着る大きな夏祭りで、わくわくが止まらなかった。歩いていると会場運営の方や学生など街の人が協力し合い、多くの人の思いが詰まって出来ている祭りだという印象を受けた。迫り満点の花火は、建物がなく海を一望できるここでしか見れない絶景！まるで自分達のために打ち上げられたような特別感で、夏を楽しむことができた。開催が久しぶりであったことや、街の人の思いを感じられたことも重なって、花火の時に食べたかき氷やはしまき、きゅうり、そして何よりお酒のおいしさは格別だった！花べっぶに戻って、美人の湯と呼ばれる自慢の露天風呂に浸かった。他のお客さんがおらず、貸切のように温泉を楽しめた。いつもよりゆっくり話をしながら入ることができ、更に温泉が好きになった。今日一日を思い返し、明日にわくわくしながら、旅の疲れを癒して眠りについた。みんなが寝た後にこっそり一人で飲んだ花べっぶオリジナルコーヒーで更に癒された。





2日目の始まりは花べっぶの朝食。九州でとれた新鮮な食材を使用したこだわりの料理の数々。釜炊きの白米、JR九州オリジナルブランドの卵など、全てが身体に染みて美味しかった。

お腹も心も満たされ、最初に訪れた場所は「大分香りの博物館」。ここでは香水やお香の香りの歴史を珍しい展示物を見ながら学ぶことができる。さらに人気なのが、香水の調香体験。自分で好きな香りを混ぜて、自分だけのオリジナル香水をつくることができる。夏らしい爽やかな香りや、甘い香りなどみんなの個性が出る体験だった。家にある香水を見ると、調香したことも含めたこの旅の思い出を持って帰ってきたように感じさせてくれる。その後、学芸員の方おすすめの博物館に隣接する「カフェ サ・サンボン」で、人気のサラダセットを頂いた。しゃきしゃきの新鮮な野菜にバジルのドレッシングがマッチしていて、とても美味しかった。一人で足を運ぶ人もいて、お屋には満席になるほどの隠れた人気店だった。

次の目的へと歩いていたら、可愛らしい温泉マークのあるマンホールを見つけ、思わず写真を撮った。

次に訪れたのは「甘味茶屋」。ここでは大分の郷土料理のだんご汁、天むす、やせうまを頂いた。ほとんどが手作りで作られていて、出来立てを提供してもらえる。店内は昔ながらの木造建築で、居心地の良い癒される空間で、どこか懐かしい気持ちになる。料理はどれも絶品で、祖父母の家で食べるような安心する味に一気に大分の温かみを感じ、至福のひとときを過ごした。写真を見返す度「また食べたい…」と思わずこぼれるほど、思い出に残っている味だ。

お腹が満たされて次に向かった先が「竹瓦温泉」。大きな迫力のある竹瓦温泉は、外装も内装も歴史を感じる風情のある建物だった。徐々に砂に埋まっていく全身に、丁度いい重さと温かさを感じ、とても気持ちよかった。2日間の体の疲れも一気に取れて、気づいたら寝てしまうほど。入った後もしばらく身体がぼかぼかしていたので、冬に来るのもよさそう…!

最後にお土産売り場に行くと、大分のカボスや温泉といった名物を、ポン酢や入浴剤などの様々なものと組み合わせた商品が沢山あり、どれも大分にしかないもので色々買った。



周りに青々とした山や、キラキラと光る海の見えるのどかな景色からわかるように、別府は大きな自然に囲まれていて、季節を身近に感じることができ、思わず深呼吸をしてしまうほど癒される空気感が心地よかった。今回は花火大会のある特別な日に訪れたので、別府のありのままの良さを感じつつも、どこか非日常的な体験の中の旅だった。

次回は日常の別府を訪れて、温泉巡りや誰かのための香水作り、行けなかった他の観光スポットに行きたい。今回お世話になった人、見て触れた景色に思わず「たたいま」と言いたくなった。溢れるほどの魅力の詰まった別府にまた来たい。

またくるけん、大分。

SPOT DATE

とよ常

ホテル雄飛内の食事処で、天井を提供することから始まった創業90年以上を誇る老舗。現在では別館が出来るほど、地元の方や観光客からも愛されるお店となっている。お洒落な小鉢にもホテルの名残を感じる。

花べっぶ

館内には、別府と名付けられた橋がふんだんにあしらわれており、「ふんわりやさしい」宿としてくつろげる空間になっている。館内畳敷きで、裸足で歩けるのが魅力。地元の食材を使用した、あたたかい朝食も絶品。

べっぶ火の海まつり

別府を代表する夏祭り。この祭りは、1977年から毎年7月末の3日間で開催されている。別府駅前が歩行者天国になり、様々な出店が並び、夕涼みワイワイ市と呼ばれている。今年は3年ぶりの開催で、約5000発の花火があがった。海から上がる花火は特別感があり、祭りの最大の魅力。

香りの博物館

九州唯一の香りを専門とする博物館。香りの歴史を学べ、和洋どちらの香りも楽しむことができる。調香体験では自分で香りを調合し、世界で一つだけのオリジナルの香水を作ることができる。

カフェ・サ・サンボン

大分香りの博物館内にある地元の人からも愛されるカフェ。15品目以上の栄養たっぷりのサ・サンボンサラダが人気のメニュー。セットで頼めるケーキも絶品!天気の良い日には、花が咲く華やかなテラス席もおすすめ。

甘味茶屋

隠れ家的な佇まいをしている。つきたてのお餅やぜんざい、手作りの和菓子などの甘味や、大分の郷土料理「だんご汁」や「やせうま」など食べられるお店。大分名物は全て揃っていると人気。

竹瓦温泉

明治12(1879)年創設。正面は唐破風造(からはぶづくり)の豪華な屋根をもつ温泉となっており、その外観は別府温泉のシンボリックな存在となっている。昭和初期のイメージを残した天井の高いロビーや、名物の砂湯で癒しのひとときを過ごすことができる。

MODEL PLAN

DAY 1

- 11:45 別府到着
- 11:45 とよ常で昼食
- 15:00 花べっぶ チェックイン
- 17:00 べっぶ火の海祭り
- 20:00 花火大会

DAY 2

- 07:30 朝食
- 09:30 チェックアウト
- 10:30 大分香りの博物館
- 11:50 カフェ サ・サンボン
- 14:00 甘味茶屋
- 15:30 竹瓦温泉
- 18:30 別府発

地図はこちらから



の 野 ん び り 癒 っ っ っ 出 愛 い の 旅

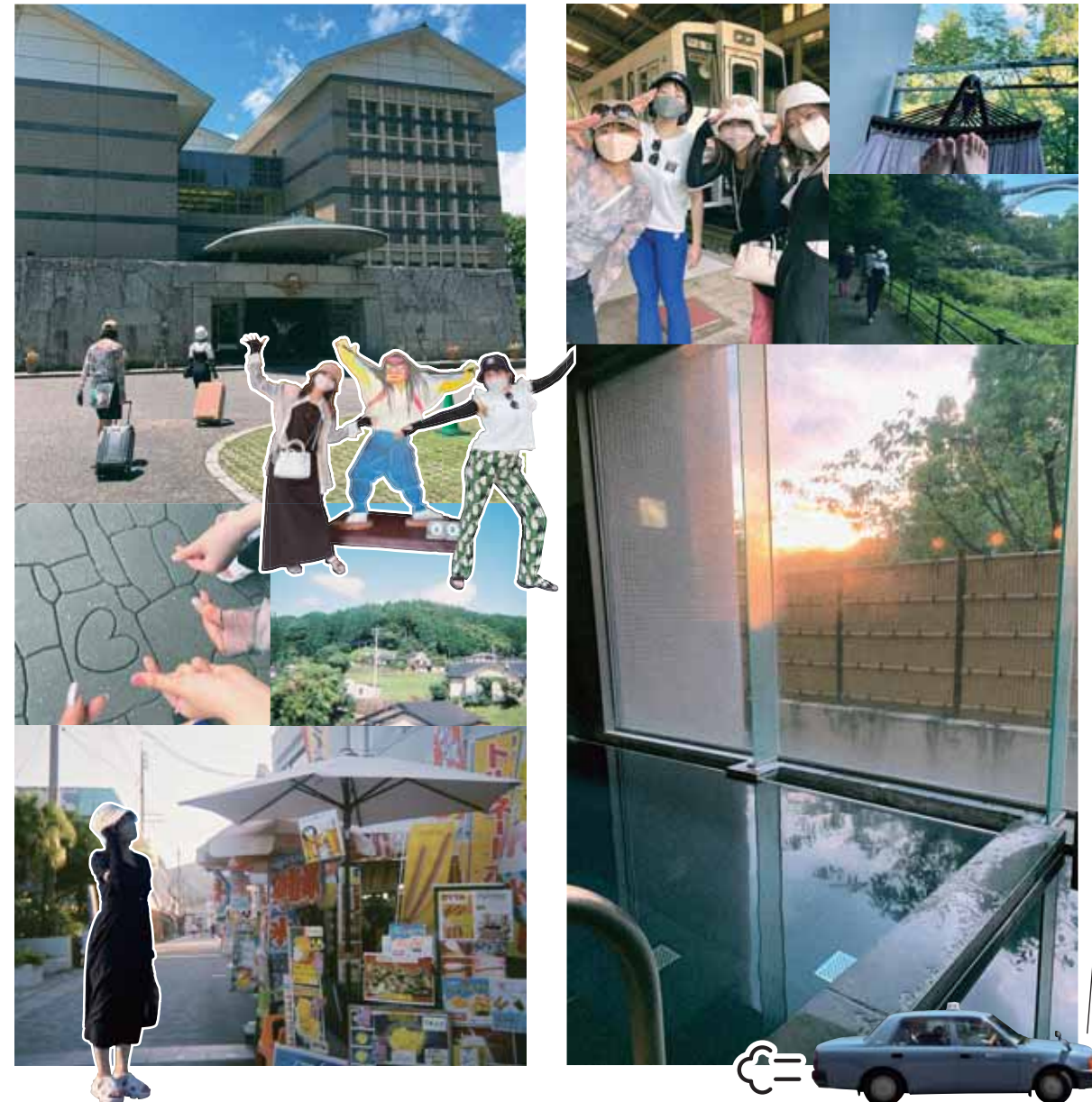
《 出 愛 い に 恵 ま れ た 高 千 穂 》

普段とは違った暑さを感じながら、宮崎での私たちの旅が始まった。アイスの溶けるスピードも尋常じゃないほど、ジリジリする暑さが体力を奪っていく。その分木陰や日陰の涼しさが何倍も良く感じられた。昼間の暑さとは打って変わって、夜は過ごしやすく、高千穂の虫の音が響き渡っていた。

そして、高千穂は出愛いにも溢れていた。昼食を求め町を歩いている時、自宅の車庫で作業をしていたおじいちゃんにオススメのご飯屋さんを聞くと、満面の笑顔で快く教えてくれた。それだけではなく、「どこから来たの?」「鉄道には乗って見た?」など様々なことを尋ねて教えてくださり、気づけば10分以上時間が経過していた。昼食の帰り

にお礼を言うためまた立ち寄ると、今度は奥さんと娘さんも出てきて下さり、また5分10分お話しして…。このように観光客の私たちに気にかけて、優しく迎え入れてくれて、高千穂の方々の温かさを感じた。さらに、ホテルの代表の方も、私たちを歓迎してくただけでなく高千穂神社の神楽をオススメしてくださったり、タクシーの運転手さんも車内で様々な高千穂のスポットや長年、運転して経験したご自身のエピソードなどをお話してくださって、大盛り上がり。高千穂に住む一人一人が高千穂の良さをよく理解し、高千穂愛に溢れているからこそ、外から来た私たちにもこの地域の良さを教えてあげたいという気持ちから、温かく歓迎してくれたのだと思えた。

私たちが「自然」と「癒し」を求めて行った宮崎は、想像以上に温かく、時間を忘れられる場所だった。都会では見ることの出来ない自然豊かな景色と、人の温かさ、そしてゆったりとした時間の流れによって生み出された非日常感を存分に味わう旅となった。たまには都会の喧騒から離れて、自然の中でのんびり癒される旅はいかがですか？



new localism / miyazaki:takachiho

new localism / miyazaki:takachiho



宮 崎 県 / 高 千 穂

次 項 へ Go!!



高千穂あまてらす鉄道って、蒸気から豚骨ラーメンの匂いにするらしいよ！



なんだって?! それは絶対行って確かめなきゃ!!

《優しさに心が温まった青島》

宮崎駅に着いた私たちは、早速昼食のリサーチを始めた。駅前にいた女子大生に声をかけると、宮崎訛りの優しい声で応えてくれた。宮崎に美味しいお店は沢山あるようだが、中でも特にオススメだと言って教えてくれたのは「ぐんけい」。そこの地鶏がとにかく絶品。彼女たちが数ある中からオススメしたくなる理由がひとりで分かった。しかし、私たちが本当に感動したのは名物の地鶏ではなく、「冷や汁」という宮崎の郷土料理だった。冷えた麦飯に胡瓜と豆腐をのせ、だし汁をかけた、さっぱりとした料理で、まさに暑い夏にぴったり。お腹も満たされたところで、次に向かった先は青島。

有名な観光地と聞いていたため、それなりに栄えているイメージがあったが、なんと無人駅だった。交通系ICカードはもちろん使えないので、要注意。青島駅前に400円で荷物を預かってくれる小さなお店があった。今どき荷物を預けるのはコインロッカーが主流だし、見ず知らずの人に預けるのは少し躊躇うかもしれないが、店番のおばあちゃんの人柄もあって、安心して預けることが出来た。青島の海岸では、太陽に照らされながら潮風を浴びて、のんびりと過ごした。海岸の出入口には出店が並び、かき氷やマンゴー、肉巻きおにぎりなどに釣られて、誰もがつい足を止めてしまっていた、

《4人の思い出がまた1つ》

2日間を通して、緑や青の景色をたくさん見て、自然の空気を吸って、人の温かさに触れて、心身ともにリフレッシュ出来た。また、自然をメインに観光地を選んで、一つ一つの滞在時間を長くしたことで、自然をしっかりと堪能できたし、時間の流れがすごくゆっくりに感じて、非日常感も感じられた。元々関わりのあったメンバーだったけれど、この旅の中で色んな一面を知って、さらに仲が深まった。旅を終えてからも、思い出を振り返っては笑って、懐かしく感じて、「また行こうね」って言って、思い出話が終わる。全員が揃うと、大抵この繰り返し。4人の温かい思い出が、また1つ増えたことが、何よりも嬉しい。そして、その思い出の場所がこんなにも素敵な宮崎であることもまた、嬉しい。

SPOT DATE

ともえまる食堂

地元の人への聞き込みで見つけた食堂で、大きなチキン南蛮が絶品だった。地元の人にはうどんが人気。まかないから商品化された「チキン南蛮うどん」は珍しく、まさに観光客に人気のチキン南蛮と地元民が好むうどんが同方楽しめてとてもオススメ。

あまてらす鉄道

2008年に廃止となった「高千穂鉄道高千穂線」の線路を利用したアトラクションで、列車に揺られながら高千穂の大自然が一望できる。今年から燃料を軽油からバイオディーゼ燃料に換え、環境に配慮したSDGsな取り組みとして大きな注目を集めている。

高千穂神社

縁結びの神様として有名で、手をつないで夫婦杉の周りを3周すると仲睦まじくなる(夫婦・友人)・家内安全・子孫繁栄と3つの願いが叶うそう。また、夜神楽も名物の一つで、365日毎晩上演されている。

高千穂峡

1934年11月10日に国の名勝・天然記念物に指定されており、付近には滝百選にも選ばれた真名井の滝、槍飛橋などがある。高千穂峡の遊覧貸しポートがあり、川下りをしながら高千穂ならではの神秘的な自然を楽しむことができる。

国民宿舎 高千穂ホテル

豊かな自然に囲まれており、アウトホームな空間のなかでも身体もリラックスできる。朝食はバイキングで和食から洋食まで品数も多く様々な料理が楽しめる。徒歩5分圏内に高千穂神社があり、真名井の滝へも車ですぐ行けるロケーションも抜群。

ぐんけい 宮崎駅前店

駅前で宮崎の郷土料理が食べられ昼飲みができる居酒屋。熱々の炭火焼を柚子胡椒やネギゆずマヨなど、様々なトッピングで楽しめる。ご飯とスープ付きの炭火焼ランチセットが千円以内で堪能でき、そのほかにも地頭鶏ラーメンや冷や汁、鶏飯などメニュー豊富。

菓子処 わらべ

地元の方に長年愛され続ける宮崎名物「チーズ饅頭」の専門店。饅頭の皮はサクッと香ばしく、中のチーズは濃厚。地方発送をしていないため、ここでしか味わえない絶品銘菓。

青島

周囲1.5kmほどの島で、中心にはパワースポットである青島神社がある。潮風を感じながら楽しく一周散策できる。浜から橋を渡る前に黄色いポストで写真を撮影するのも大人気だ。

鬼の洗濯板

青島をとりまく波状岩は約8km続いている。約700万年前に海中で出来た水成岩が隆起し、波に洗われ、硬い砂岩だけが積み重なって現在の形になった。波がそのまま岩になったような神秘的な光景が広がる。

MODEL PLAN

- DAY 1
- 11:45 高千穂バスターミナル 到着
 - 12:00 国民宿舎 高千穂ホテルへ荷物預ける
 - 12:30 ともえまる食堂にて昼食
 - 13:45 あまてらす鉄道
 - 16:00 国民宿舎 高千穂ホテルチェックイン
 - 20:00 高千穂峡散策
- DAY 2
- 08:00 朝食
 - 10:00 チェックアウト
 - 10:30 高千穂バスターミナル発
 - 11:50 延岡駅着
 - 11:57 延岡駅発
 - 13:10 宮崎駅着
 - 13:30 ぐんけいにて昼食
 - 14:45 チーズ饅頭わらべ
 - 15:56 宮崎駅発
 - 16:25 青島駅着
 - 16:30 鬼の洗濯板、青島神社散策
 - 19:05 青島駅発
 - 20:00 宮崎空港

地図はこちらから



青い海、白い砂浜、暖色の太陽。
 沖縄といえば?と聞いて思い浮かぶのは、豊かな自然と観光の沖縄。
 その中から非日常を求め、また私たちならではの『新地開拓』にこだわった沖縄の旅。
 旅の道中、予想外のトラブルも地元の方の温かさに触れて助けられた。
 老若男女問わず、人と人の壁を感じさせない人柄あふれる地域へ足を運んでみませんか?
 みなさんも沖縄南部へめんそーれ!

旅はこーでいねーと 旅はこーでいねーと



沖縄県 / 南部



完成はコチラ!

Aset!



観光スポットといえば やっぱりこれ!めんそーれ!

『おきなわワールド』の鍾乳洞は思ったより温かく適度な湿度!鍾乳洞は地下水が豊富で、運が良ければオオウナギ等の生き物にも会えるかも?!熱帯フルーツ園では、沖縄ならではの『パイナップル』や『パラミツ』というフルーツに釘付け!『パラミツ』はサイズが人の顔の2倍ほどで、フルーツ園の中でもお客さんがつい立ち止まってしまうくらい一際目立ってた!

『琉球ガラス村』では初の琉球ガラス作り体験!数多くの職人さんがいる中で選ばれた現在在籍中の「沖縄県工芸士」をガラス村の工房で見つけられた時は、オーラが凄くて芸能人に会えた気分だった!そこでおすすめされた『沖縄そば』と『ジーマーミ豆腐』が印象的で、今でも忘れられないくらい美味しい味だった。普通のピーナッツ豆腐よりもおやつとして食べたい!と思えるくらいのトロトロな食感でもあった。人との繋がりを通じて新たな発見ができる、温かくてうっとりな旅に。
 <裏話>シーサーは阿吽の呼吸と同じようにオスが幸せを吸い込みメスがその幸せを掴んで離さない、という由来があるらしい!



観光スポットにとられない! 私たちの楽しみ!

『タクシー』旅行に行くとなるとタクシーや、公共交通機関を利用することが多い。しかし、タクシーに乗ることで運転手さんが地元のお話やおすすめスポットを教えてくれて、仲良くなり電話番号まで交換して、その運転手さんが2日目台風の中助けてくれるとは!凄く人柄の良い運転手さんばかりで心強い旅になった。『路地裏』国際通りを散策中に、商店街の路地裏を発見!地元の方にとっては見慣れた景色や街並みだろうが、私たちにとっては新鮮な景色!そこで私たちにコーデのモードを合わせ、その背景をバックしたモデル気取り撮影もまた旅のハイライトとなった。『夜のちゃりんこ』ホテルのレンタル自転車を借りて夜の街を散策。街の人も気軽に「気をつけてね」と声をかけてくださり、心温まる。車や散歩とは違う目線で、沖縄の夜の景色を目に焼き付けることができたのでとてもいい経験に!川沿いをバックに写真撮影をしたのも良い思い出。
 『ホテルの恋バナ』お菓子を食べながら、台風状況を流すテレビの音をBGMにそれぞれの恋バナ相談会。

Bset!





Happyセット：オリジナリティ溢れる余白の旅を

沖縄の表舞台の魅力を伝える定番スポットのAセット。そして、この旅の余白を利用して創造した私たちなりの楽しみを象徴するBセット。どちらのセットも自分たちらしくワクワクが止まらずHappyな気分！自分たちで街を歩いたり、地元の方とお話することでまだまだ知らない沖縄を発見し、もっともっと新たな一面を知りたいという気持ちが芽生えた。この2つのセットを掛け合わせ、観光という非日常のなかで私たちにしかできない日常を創る。私たちの旅行バレットに、私たちの彩りを加えてくれた。そして、自分たちなりの旅をすることで、バリエーションは増え、その土地を何度も楽しめるHappyな旅に！
旅はこーでいねーと！旅はこーでねーと！！



SPOT DATE

おきなわワールド

沖縄の文化、歴史、自然の魅力が詰まったテーマパーク。玉泉洞を起点に地上エリアを充実させ、沖縄の重要観光施設として1996年にリニューアルオープン、現在のおきなわワールドとなった。

琉球ガラス村

糸満市にある県内最大の手作りガラス工房。原料の調査から商品の販売に至るまで2,000種類以上もある商品を一貫して製造・管理しており、100%ハンドメイドで製造している。施設内には琉球ガラス作りをはじめ、約15種類のメニューの中から沖縄の工芸や文化が学べる体験教室もある。

ホテルアーツステイ那覇国際通り

「文化・アートと寄り添うホテル」をコンセプトに、ロビーから客室までアートに包まれた魅力たっぷりのホテル。国際通りの中心部に位置するので、買い物や食事にとっても便利。フロントには24時間ドリンク飲み放題や自転車の貸し出しなど、サービスも充実している。

国際通り

通りには、約460の店やその他の事業所が軒を連ね、デパートやレストラン、サービス、雑貨店などや、ホテル、お土産などの観光客を対象としたたくさんの店が賑わっている。「人に優しい街・歩いて楽しい街」をコンセプトに掲げ、さまざまなイベントも行っている。

瀬長島ウミカジテラス

沖縄・那覇空港近くの瀬長島にあるアイランドリゾート。現在47店舗のお店が営業している。お店のジャンルは、海鮮系のお店からデザート・カフェのお店まで多岐に渡る。季節ごとにイベントも催しており、老若男女楽しめる施設となっている。

MODEL PLAN

DAY 1

- 07:10 福岡空港発
- 09:00 那覇空港着
- 09:40 おきなわワールド
- 13:15 琉球ガラス村
- 18:15 ホテルアーツステイ那覇国際通り
- 20:00 国際通り

DAY 2

- 10:00 瀬長島ウミカジテラス
- 14:00 金城町石畳道
- 16:00 那覇空港
- 19:00 那覇空港発
- 21:30 福岡空港着



地図はこちらから



豊かな自然をのんびり過ごし、
 地元の人と語り合う1泊2日の旅。
 広がる輪に私たちも加わりながら、改めて人との
 出会いが、旅の醍醐味だと気がきました。
 佐伯が好きに、佐伯の人がもっと好きになる。
 みなさんも佐伯に旅してみませんか？

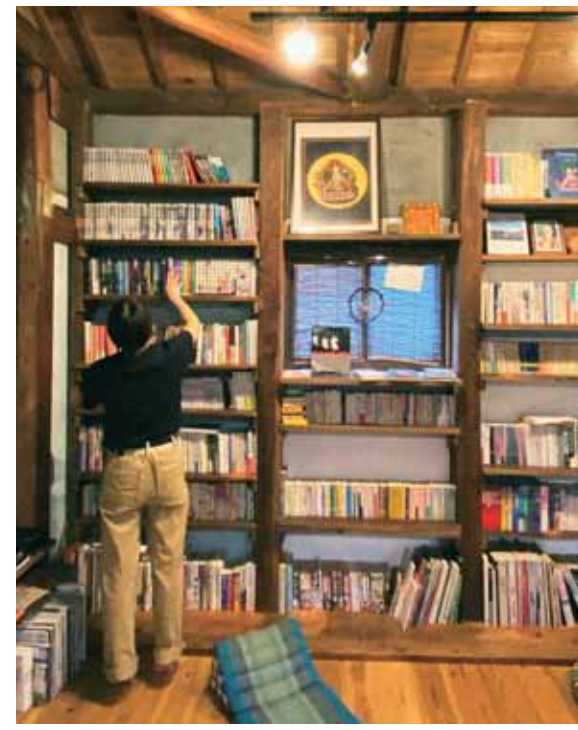


new localism / oita:saiki

佐伯最高さぁ行こう！

Day1/甘酒工場『麴の杜』で人生初のあまぎけ造り!あまぎけ造りは温度管理が1番重要だとの事!何度も何度も温度計測して、決められた温度に調整するのが難しかった。それでも支配人の松久さんが優しく教えてくれ、皆で楽しく体験できた。そして、最後に「あまぎけ職人認定書」を頂いた。なんと履歴書にも書いていいそうだ!いえーい!!体験後には、様々な種類の甘酒を試飲させて頂いた。ゆず、カボス、ショートケーキ、ティラミスフレーバーのあまぎけなど斬新でびっくり!どれも凄く美味しかった。また、あまぎけは美容や健康に効果抜群で女性にオススメ!!
 次に向かったのは、今回の旅の宿『屋形島ゲストハウス』!
 着くとオーナーの後藤さんがわざわざお迎えに来てくれていた。そして、ゲストハウスに案内してもらい中に入ると、ギターやレコード、そして沢山の本。お洒落な空間ではあるけれど、後藤さんの優しい雰囲気も相まって、なんだか安心する空間だった。夕飯まで時間があったので本棚の本を読んだり、4人で島をゆったり散歩したり!夕飯では、後藤さんの

ご好意でヒオウギ貝というカラフルな貝の網焼き、アスパラのバター炒め、リゾットをご馳走に!実がプリプリで大きくて、これがもうおいしいおいしい!!夕食後、後藤さんとお酒を飲みながらお話しタイム。一度、生まれ育った島を出て、インドやネパールなど世界を旅していたそうだ。「自分が思ってる当たり前って当たり前じゃないんだよ」「自由って自分勝手がいいことじゃないんだよ」。世界の文化や価値観に触れ、様々な経験をされた後藤さんの言葉にはとても重みがあり、「人との出会い」に価値があると考えた後藤さんにとって、ゲストハウスは出会いを提供してくれる大切な場所だそうだ。私達も人との出会いに感謝し大切にしようと思った。そんな真面目な話もしつつ恋バナもしたりして、夜中までわいわい!楽しかったな~!そして、1日目の締めは星空ウォッチングに。あいにくの天気では星は見えなかった。天気がいい日はめっちゃ見えるらしい、ざんねん。ゆったりゆったり1日目終了。



new localism / oita:saiki



大分県 / 佐伯市





Day2/朝からsupしてきたー!初めての体験だからドキドキ・ワクワク。さっそく2チームに分かれて体験開始!ボードに座るのはすぐ出来たけど、その状態から立つのはバランスを保つのが難しく、落ちた時はバニック!!一瞬死ぬかと思った(笑)その様子を見てる側はすごい面白かった♪少し上達してきて、「七色の浜」まで競争。漕ぐことに集中しすぎて、競争どころではなくなってしまうほど。「七色の浜」には赤・紫・黄色・橙色といった鮮やかな貝殻が浜一面に打ち上げられていて、凄くキレイだった。貝は持って帰っていいとの事だったので、皆夢中でキレイな貝探し!!屋形島の開放的な空間だからこそ周りの目を気にせず無邪気にはしゃげて、更に4人の仲も深まった。また、1日目の夜にいろんな話をして打ち解けた後藤さんとだからこそ全信頼を置くことができ、初supを心から楽しむことができた。そして次なる目的地、清水マリン食堂へ!なんと、知り合いとの事で屋形島から船と車で送ってくれた。なんて優しい人なんだろう!!!食堂に着くと、店主の水本さんが駐車場までお出迎えに!今回頼んだ「おまかせ定食」は1500円と低価格

なのに、新鮮なお魚料理ばかりで大満足で、あっという間にべろりと完食!この食堂は完全予約制で、お客様1人1人を大切にしたいという思いで料理を作っている。新鮮な旬の食材を使っているだけではなく、小鉢類にもこだわりがあるそう。お店特製の漬物のご飯がすすむすすむ!完全予約制にすることで、佐伯市を訪れる、お店に来てくれるお客様を大切に、おもてなしを提供している。食事を終えた後は、水本さんが高平キャンプ場まで車で連れて行ってくれた。キャンプ場のテラスからは、見渡せるほどの大きく青い空と海が広がっていた。水本さんが紹介してくれたカフェ定員のりんたろうさんと、たわいもない話をたくさんして楽しかった。施設内にはキャンプ場に泊まりにきた人などがサイクリングできるように自転車が置いてあって、サイクリングを楽しむこともできる。高平キャンプ場は、宿泊しなくても景色だけ見に来ることができ、とても心が癒される場所だった!昼間は海や佐伯の街が綺麗に見えて、夜にはまた違う景色が見られるのかな?いつか夜にも行ってみたいな!



みんな好きや輪

初めての町、体験、食べ物、初めましてのヒト。佐伯市でたくさんの「初めて」に出会えた。今回出会った全ての方々が、初対面の私達を温かく迎えてくれた。佐伯市の方の強い信頼関係(つながり)がとても印象的。ゲストハウスのオーナー後藤さんとの出会いをきっかけに、私たちと佐伯のみなさんとのつながりが「輪」のように広がるようで、今回の旅はたくさんの「出会い」に恵まれた。そして佐伯のみなさんの「輪」に入り、たくさんの「出会い」ができたのも、後藤さんがわたしたちの「輪」に飛び込んでくれたからこそ!初めての体験、食べ物、ヒト、景色。この「出会い」こそ旅の醍醐味だ!!この旅を経験し、人々の輪に飛び込んでいける勇氣ある人に、また自ら輪を広げていける人になりたいと思った。私たちはこれから「出会う」すべてに感謝し生きていきたい。

SPOT DATE

麴の杜

明治43年創業の酒造メーカー「ぶんご銘醸株式会社」が、見て・触って・味わって・買い物も楽しめる、麴づくしの観光工場を展開。西日本で唯一の無料で見学できる甘酒工場で、自家製乾燥米麴の製造工程などが見学でき、いろいろな種類の甘酒を試飲できるのも魅力。

屋形島ゲストハウス/SUP体験

屋形島は大分県南部、佐伯市蒲江湾より約10分のところに浮かぶ離島。屋形島の自然、ゲストハウスの空間を利用して、自分たちなりの自分探しの旅を創ることが出来る。色とりどりの緋扇貝の養殖が盛んで、夏にはSUPやシュノーケリングの体験ができる。

清水マリン食堂

その日水揚げされた魚を、最高の状態で味わえる。四季折々に変わる旬の食材を楽しみ、こだわりの絶品料理の数々に心も満たされること間違いなし。宿泊施設「民宿清水マリン」では、静かな河内湾でいかだ釣りができる。

高平キャンプ場

テラスからは蒲江の海や島が見渡せ、天気よければ海の向こうに四国の山々を望むことができる。宿泊・日帰りキャンプはもちろん、ちょっとした遊び場としても人気の場所。天空のキャンプ場、天空の公園とも呼ばれており、特に星空が絶景とのこと!!

MODEL PLAN

DAY 1

- 07:31 博多 駅発
- 11:06 佐伯 駅着
- 13:30 麴の杜(甘酒作り体験)
- 15:00 夕食材料調達
- 16:00 蒲江港発
- 16:10 屋形島着
- 16:20 ゲストハウス着～屋形島散策～
- 17:30 BBQ

DAY 2

- 09:00 SUP
- 13:00 屋形島発
- 13:10 蒲江港着
- 13:30 清水マリン食堂
- 15:00 高平キャンプ場
- 17:30 さいき城山桜ホール
- 18:42 佐伯 駅発
- 22:03 博多 駅着

地図はこちらから



現在でも古き良き日本の街並みが残る京都。

一度行ってみれば、まるで違う世界に迷い込んだような気持ちにさせてくれる。

現実を忘れて、タイムスリップしたような気分になれる京都の街を一緒に歩いてみませんか？

時空を超えた日常 / 非日常

まず私達が向かったのは、多くの人が行き交う錦市場。両端にはたくさんのお店が並んでおり、京都ならではの食文化を楽しむことができる。早速みんなで食べ歩き！満腹になったところで、次の場所にレッツゴー！次に訪れたのは京都の代名詞とも言える清水寺。入口で参拝券を購入し、みんなでバシャリ！清水の舞台から景色を望めば、樹木茂る境内が広がる。階段を降りた先には、涼を感じられる「音羽の滝」があり、学業や恋愛成就、長寿にあやかれるパワースポットとして親しまれている。清水寺を出て参道を歩いてみると、たくさんのお土産屋が立ち並ぶ。

暑さでやられそうな私達は、ふと目に入った「Cafe&Giftshop TEN」でちょっとひとやすみ。ここでは、抹茶を使った冷たいデザートや、個性豊かなお土産を楽しむことができる。



ひと休みしたあとは清水寺から少し離れて、下鴨神社へ。神社の本殿へと続く道には、二千年余の歴史を持つ糺の森がある。足を踏み入れてみると、先程とはうってかわって、神聖な雰囲気が漂っている。緑に包まれ、暑さを忘れるくらいのマイナスイオン！最高！森を抜けた先にある鳥居をくぐれば、目の前には立派な「楼門」が！！ポーズを決めて記念にハイチーズ！

下鴨神社にはちょっと変わったおみくじがある。その名も「水みくじ」(300円)。神社の中を流れる御手洗川の水面におみくじを浮かべれば、あなたの運勢が浮き出してくる。季節によって授与時間が異なるので、事前に調べて行くことをオススメする。(私たちは間に合いませんでした。。)





2日目は朝から多くの参拝客で賑わう伏見稲荷大社からスタート。多くの鳥居が立ち並んだ千本鳥居は、まるで朱色のトンネル。一度入れば目の前には鮮やかな朱が広がり、知らない世界へとタイムスリップしたみたい。参道に立ち並ぶ多くの店には稲荷大神の神使であるお狐さまのお面や、病気や災難を妨げるダルマの可愛い置物も。続いて、祇園、京都駅前、嵐山の三店舗を運営する京都最安値浴衣・着物レンタルショップ『ぎをん錦』へ。ここでは、別店舗へ返却できる「らくらく返却サービス」や「学割プラン」「事前予約割」など、低価格&便利な独自サービスが盛り沢山である。ひとつの部屋に並べられた浴衣の数は、なんと4000種類!着物レンタル最安値1900円～。

あなたのお気に入りのベスト浴衣を見つけ出せ!
各々のお気に入りの浴衣を身にまとった私達は、いざ祇園へと出発!!京都の街を眺めながら歩けば、気分ははんなり京都人!一度浴衣をまとめて大通りを逸れて、裏通りへと足を進めてみれば、まるでタイムスリップしたかのような気分に。恋みくじをお目当てに訪れたのは、「祇園さん」の愛称で地元の人からも愛される八坂神社。履きなれない下駄でゆったりと境内を散策。運試しに引いたおみくじは凶が出ちゃったけど、ちゃんと結ばばきつと大丈夫!



オススメSPOT!!

①注目!ホテル情報!
和の雰囲気を楽しめるお部屋は、寝転べる畳スペースと選択可能な色とりどりの浴衣。設備には女優ミラーやトースター、IH、お洒落な食器類やシャンパングラスなど。雰囲気、設備、コスバ、インスタ映え、全てにおいて最高すぎるHOTEL IMAGINE KYOTO。ぜひ行ってみたいホテルNo.1である。

②注目!京都タワー!
駅前でライトアップされた京都タワーを背景に記念撮影をする私たち。どこからどう見ても、The 観光客(笑)



非日常の中で見つけたもの

私たちは、『ニューロカリズム』というテーマの元、京都のまだ知られていない魅力を全国へ発信するべく、京都に向かいました!!

浴衣を着て歩いてみると、まるでタイムスリップしたような気分に。建物は赤と緑と茶色を基調とし、街中の道路は基盤の目のようになっている。風景を壊さないように看板を立てない、ゴミ箱を見えるところに置かないなどの工夫もあることをご存知だろうか?

そんな非日常を感じつつ、人との出会いや、旅を通しての友情の深まりに暖かい日常も感じる事ができた。予定通りにいかず、ハプニングもあったけれど、代わりに新たな発見が!その全てを含めて、自分たちらしい最高の旅になった!!

夏の京都も最高だけど、春夏秋冬色々な表情の京都も見たい!!

SPOT DATE

錦市場

400年の長い歴史がある全長390mの市場。他所にはない珍しい食材、京都が育ててきた 独特の食文化を楽しむことができる。錦小路と交差する各通りに設置された「天井画」も必見。

清水寺

「清水の舞台」で知られる寺院であり、北法相宗の大本山。音羽の中腹に広がる境内には、30以上の堂塔伽藍が建ち並び。1994年に、ユネスコ世界文化遺産に登録された。

下鴨神社

正式名称は「賀茂御祖神社」。賀茂建角身命と玉依媛命を御祭神として祀っており、国民国家の安穩と世界平和を祈願する守護神でもあり、厄除けなど人々の暮らしを守る神様でもある。

Cafe&gift shop Ten

『ごち良き』を十分に感じられるお店。カフェでは作家ものの器に盛りつけられた、和のデザートを楽しむ。またショップでは自社工房で製作している和雑貨などを多く取り扱っており、京都土産に最適。

HOTEL IMAGINE KYOTO

ジョン・レノンの「IMAGINE」にインスパイアされた旅館スタイルのホテル。モダンなデザインと伝統的な文化の融合を楽しむことができる。室内着や高級ヘアアイロンの貸出などこだわりのサービスが魅力。

伏見稲荷大社

日本人にとって最も身近な神社と言える、「お稲荷さん」とも称される稲荷神社の総本宮。日本人のみならず外国人の参拝者も数多く、日本を代表する名所として世界的にその名を知られている。

八坂神社

八坂神社は、全国にある八坂神社や素戔嗚尊を祭神とする約2300の神社の総本社。厄払いや縁結び・美容などのご利益のある八坂神社は「祇園さん」と呼ばれている。「祇園祭」が行われることでも有名。

よーじや 祇園本店

京都らしいきっかけから生まれたあぶらとり紙が大好評を博し、よーじやの看板商品となった。100年間ひたむきに続けてきたものづくりの姿勢により多くのお客様からの信頼を寄せている。

MODEL PLAN

- DAY 1**
- 11:30 京都駅着
 - 12:00 HOTEL IMAGINE KYOTO チェックイン
 - 12:40 錦市場
 - 14:00 清水寺
 - 14:30 清水寺参道 お土産
 - 15:15 Cafe&Gift shop Ten
 - 17:00 下鴨神社
 - 18:00 京都タワー
 - 19:00 京鴨一羽買いと京のおぼんざい市場小路 夕食

- DAY 2**
- 10:00 伏見稲荷大社
 - 11:00 HOTEL IMAGINE KYOTO チェックアウト
 - 12:00 ぎをん錦 着付け
 - 13:00 肉割烹バル牛牛 昼食
 - 13:50 八坂神社
 - 14:00 よーじや ショッピング
 - 14:20 花見小路
 - 15:20 よーじやカフェ
 - 17:00 京都駅

地図はこちらから



souvenir

お土産いろいろ

お土産選びも、旅の醍醐味。

自分のために、あの人のために、旅の思い出をもっと豊かに。

ここでしか買えないモノから、定番モノまで。

旅をした時に、感じた気持ちを込めて買ってきました。

わたし達オススメのお土産を紹介します。



別府温泉 薬用湯の花

国の重要無形民俗文化財に指定された製法で作られた、明礬温泉の成分が入った入浴剤。温泉の成分には冷感性やしもやけ、打ち身など、全部で16の症状に効能があり、別府に行かなくても温泉気分を味わうことができる。

大分県内の道の駅やお土産店などで購入可／605円



かぼすぼん酢

大分県はカボスの生産量が日本一の3,800トンで、2位の宮崎県の31.5トンと比べてもダントツの1位!!このかぼすぼん酢は、ドレッシングの代わりとしてサラダに使用しても、タレとして鍋にかけてもさっぱりいただける商品。

大分県内の道の駅やお土産店などで購入可／605円



練り香水

大分名産のカボスをベースにプロの調剤師が調合した練り香水。さわやかな香りのするカボスの香水は世界でも大変珍しい。髪の毛先につけるとほんのり香り上品につけられると教えていただき、珍しいカボスの香水を楽しめる。

大分香りの博物館／999円



IMOKKORO

コロコロとした可愛らしいキューブタイプのお菓子で、プレーンに加え焼き芋風味と塩バター味の3種類がある。外側は軽くサクッとしているが中は柔らかくて食べやすかついついてが止まらなくなるようなクセになる美味しいお菓子である。

宮崎県内の駅や空港にて購入可／1つ350円



チーズ饅頭わらべ

外はサクサクの生地で、中はチーズがぎっしり詰まっており食べ応えがある。一つ一つ手作りにこだわり、品質を重視しているため地方発送はしていない。連休等はすぐに売り切れることがあるので電話での予約が必須!!

菓子処 わらべ／写真は箱入り(5個)910円



宮崎塩キャラメルナッツクッキー

宮崎県に打ち寄せる日向灘の満潮の塩を使用した、塩風味のキャラメルナッツクッキー。サクサクとした食感に、ナッツとキャラメルの香ばしさが美味しさをさらに引き立たせる。甘じょっぱい味がクセになるお菓子。

宮崎県内の駅や空港にて購入可／12枚入り594円



琉球ガラス

沖縄本島を中心に生産されているガラス工芸品。ガラス製造は明治時代中期頃に始まり、約100年の歴史がある。ガラスに閉じ込められた気泡、青や緑の色彩豊かなカラーが特徴。

Ryukyu Glass Life Shop／1,650円



ジーマーミ豆腐 琉の月

美味しすぎて衝撃的だったジーマーミ豆腐。一般のお豆腐と違って、ピーナッツが惜しみなく入っており、甘く濃厚な味わいともちもちとした食感が特徴。付属の醤油ダレとの相性も抜群の一品。

那覇空港／648円



さんびん茶

沖縄でポピュラーなお茶といえば、さんびん茶。手軽なペットボトルから本格的な茶葉まで幅広く売られている。沖縄県内では、空港やコンビニ、自動販売機でも購入可能。

瀬長島47STORE(瀬長島ウミカジテラス1F)／990円



酒蔵のあまざけ

保存料・甘味料を一切使用せず、良質の米の甘さを自然に醸し出したあまざけ。麴でつくるあま酒にはブドウ糖(グルコース)が含まれ、さらに、必須アミノ酸、ビタミンB群、オリゴ糖・食物繊維も生成させるので、健康維持に非常に役立つ飲み物。

麴の杜／280円



ぶんごの梅酒

大山町の上質な完熟梅を漬けて凄く香り豊かで甘さ控えめに仕上がっている。クエン酸が含まれていて美容と健康効果があると期待されている。炭酸で割ってもスッキリした味わいで、梅酒とあまざけを1:2の割合で割って飲むのもおすすめ。

麴の杜／1,000円



しょうゆ麴・あまざけドレッシング

しょうゆ麴には大分県臼杵市の老舗「カニ醤油」の醤油を使用。料理で醤油の代わりに調味料として使えて、麴の発酵パワーを手軽に取り入れることができる。あまざけドレッシングは、調味料として使用しても美味しく頂ける。

麴の杜／しょうゆ麴 486円
あまざけドレッシング 540円



IMOKKORO

コロコロとした可愛らしいキューブタイプのお菓子で、プレーンに加え焼き芋風味と塩バター味の3種類がある。外側は軽くサクッとしているが中は柔らかくて食べやすかついついてが止まらなくなるようなクセになる美味しいお菓子である。

宮崎県内の駅や空港にて購入可／1つ350円



チーズ饅頭わらべ

外はサクサクの生地で、中はチーズがぎっしり詰まっており食べ応えがある。一つ一つ手作りにこだわり、品質を重視しているため地方発送はしていない。連休等はすぐに売り切れることがあるので電話での予約が必須!!

菓子処 わらべ／写真は箱入り(5個)910円



宮崎塩キャラメルナッツクッキー

宮崎県に打ち寄せる日向灘の満潮の塩を使用した、塩風味のキャラメルナッツクッキー。サクサクとした食感に、ナッツとキャラメルの香ばしさが美味しさをさらに引き立たせる。甘じょっぱい味がクセになるお菓子。

宮崎県内の駅や空港にて購入可／12枚入り594円



京ばあむ

京都の地下水でつくった京都産の豆乳と、口溶けの良い国産100%の小麦粉を合わせたスポンジ生地。そこに宇治抹茶と煎茶をブレンドした抹茶生地を層に重ねた、京都土産定番の大人気バームクーヘン。

京ばあむ 清水店／1,296円



寶CRAFT京都ゆず

京都府水尾ゆずの果肉をまるごと搾ったストレート果汁とゆずペーストに、果実のおいしさを抽出したゆずスピリッツを合わせ、京都の伏水で丁寧に仕込んだチューハイとまろやかな泡と深みのある抹茶の風味が魅力のビール。

Harves 京銘館／ゆず 295円・京都麦味 420円



あぶらとり紙

よーじやの看板商品。1920年代、京の街で芸妓や舞妓の愛用品となり、100年の時を超えて今でも愛され続けている。脂分をよく吸収することに着目した、京女の知恵から生まれたあぶらとり紙。

よーじや 紙園本店／1,960円5冊入り

New-LoCagraph

ニューロカグラフ

今の私たちだからこそ撮れた写真。

まだまだあるので、ここで紹介します。

もし、また訪れたとしても

同じ写真はもう撮れないと思います。

あなたが旅をしたら、どんな風に見えるんだろう。

あなたと旅をしたら、どんな風に映るんだろう。

あの時の情景を思い出しながら。



new localism / New-LoCagraph

new localism / New-LoCagraph

New-Localograph

ニューロカグラフ



new localism / New-Localograph

new localism / New-Localograph

Editor's note

あなたにとってのNew Localismとは。

旅マエ・旅ナカ・旅アトで感じたことを自分らしく伝えたい。
池田ゼミの各チームに旅の思い出を話してもらいました。



またくるけん、大分

友莉:「今回の旅どうだった?」

優花:「旅行に行く前に下調べいっぱいしたからより満喫できた!」

愛美:「確かにあの時間大事だったね〜。私はみんなと大分の温泉に浸かって話をして温泉を大好きになれたことが嬉しかった!」

和奏:「温泉貸切で気持ちよかったね〜!私は3年ぶりのお祭りで浴衣も着れて、屋台にわくわくして、花火も迫力満点で楽しかった!」

愛美:「うんうん。わかな今度はりんご飴食べたらいいね笑」

和奏:「食べたい!!!!笑笑」

友莉:「香水を作ったり、景色を見たり初めての体験が多かったよね!今まで知らなかった大分の魅力に気づけていい旅だった!」

優花:「今度はとよ常の方おすすめ朝日が見えるスポットに早起きして行きたいな」

和奏:「行きたい行きたい!温泉巡りもしたいね〜」

友莉:「いいね〜、今度はゆっくり別府を堪能しよう!」



の 野 ん び り 癒 っ く り 出 愛 い の 旅

山下:私たちにとって初めての宮崎だったけど、実際に行ってみてどうだった?

吉里:なんか宮崎に着いた瞬間一気に時間の流れが変わった気がしたよね!初日は宮崎独特の暑さとかゆったりした時間とか地域の人たちに初めて触れて新しい発見ばかりだったな〜

岡崎:私はとにかく暑くてびびりした!けど宮崎着いて、最初の目的地で名物のチキン南蛮食べて、暑さ吹っ飛ばすくらい美味しかったのが印象的!!

吉里:あのおじいちゃんがオススメしてくれたお店に行って正解だったね!賄いから生まれたチキン南蛮うどんが美味し

かった〜

村上:私はなんと言ってもホテルかな〜、大きな大浴場でたくさん歩いた疲れもとれたし、夜ご飯も次の日の朝ご飯も絶品だったよね!

山下:ホテルの方、本当に親切だったね!ちなみに私は、青島が思い出に残ってるかな〜。海も綺麗だったし、出店で食べたマンゴーが美味すぎた!

岡崎:それに青島の帰りにタクシーから見た夕日がすごい綺麗で感動した!改めていい旅だったしまたみんなで行きたいね!

村上:そうだね、絶対また皆で行こう!



旅はこーでいねーと!旅はこーでねーと!!

みさ「この旅はみんなどうだった?」
みう「タクシーの運転手さんに沖縄の豆知識色々聞いたね!」

かおるこ「ウルトラマンのキャラクターが沖縄の方言からきてたのも初めて知ったね!」

まりん「あ!チブル星人でしょ?あとさ、食べ物のミミガーとかソーキそばも沖縄の方言から来てたよね!」

かおるこ「そうだったね!でも私が1番印象に残ってるのは、国際通りでフラワーに入った裏路地かな。」

みう「うんうん。裏路地の雰囲気にもまれて撮影会しちゃったよね笑」

みさ「私は、琉球ガラス村で食べたジーマー豆腐が美味すぎて今でも忘れられない。」

まりん「私ももう一回食べたい〜あと夜な夜な自転車こいで海辺まで行ったね!」

みう「その後、恋バナで盛り上がりちゃったりして♡このメンバーらしいユニークでハッピーな旅になったね!」

かおるこ「1泊2日じゃ足りなかったからまたゆ〜っくりみんなで沖縄行こうね!♡」



みんな好きや輪◎

亜海

「楽しかったね!何が1番印象に残ってる?」

ひかる

「SUP-!」

亜海

「私も!!初めてだったけどめっちゃたのしかった!」

江吏子

「立つの怖かったよね」

ひかる

「他は??」

江吏子

「私はバーベキュー!皆でやったから準備も楽しかったな〜」

備も楽しかったな〜

ひかる

「確かに!!しかも後藤さんのご飯すごい美味しかった〜」

真子

「私は展望台」

亜海

「まこ氏、憧れのねるちゃんと同じ場所で同じポーズして写真撮れたもんね!」

真子

「行くの場所的に難しかったから諦めてたけど水本さんが連れて行ってくれたから凄く嬉しかったな!!」



時空を超えた日常・非日常

いちばんのおすすめスポットは?

下川:祇園!レトロな雰囲気めっちゃくちゃよかった

久保:清水寺。紅葉が綺麗な時期にも行ってみたい

木村:札の森緑がいっぱいで、涼しかった〜!

城川:伏見稲荷大社。鳥居が想像以上に並んでいて迫力があつた!

面白かったエピソードは?

下川:下鴨神社でななのサンダルに砂利が入って痛がってたところ(笑)

久保:砂利が足の裏に刺さって痛かった

木村:清水寺で、日陰に皆で逃げ込んだところ(笑)日差しが強すぎてずっと日焼け止め塗ってた!(笑)

城川:京都タワー前での写真撮影!周りから凄く見られてたから、撮り終わった後の解散めっちゃ早かった笑

旅のハプニングは?

下川:行こうとしてた観光スポットが遠かった。時間と場所の確認必須!!

久保:想像以上に暑かったこと。

木村:距離感がわかってなくて時間が足りず、行けてないスポットもあった。城川:思った以上に暑かったこと!日傘が手放せない暑さだった!